

被爆者の声を次世代に伝えたい!!

～75年前の悲劇を二度と繰り返さないために!～

今年、広島・長崎に原子爆弾が投下されて75年を迎えます。自分たちが体験した地獄の苦しみを二度と誰にも味わわせたくないという原爆被害の実相を語り続けている千葉県原爆被爆者友愛会の児玉三智子さんに伺いました。

児玉三智子さん(広島 当時7歳)の被爆体験

放射能と熱線と爆風と衝撃波とで、広島を焼き尽くした原子爆弾

1945年8月6日8時15分原爆投下

8月6日は7時半に空襲警報が解除となり、私も学校に登校しました。8時15分、窓の外から突然シルバーとも黄色とも、白ともオレンジともつかない光が飛び込んで来て、天井の梁が落ち窓ガラスが飛び散りました。その瞬間私は机の下にもぐったようです。気を失ってしまったのです。「助けて!」「痛いよう!」の泣き声、叫び声で意識が戻りました。7歳の私には友達を助けることはできませんでした。這うように廊下まで逃げ、どのように保健室まで行ったのか覚えていないのですが、先生に頭や肩、腕に刺さった大きなガラスの破片を抜いてもらい、少しの赤チンをつけ包帯代わりに陽に焼けて黄色くなった木綿のカーテンを裂いて巻いてもらいました。その頃、父は中学生や女学生を引率する役割で爆心地から2kmくらいのところにいました。黒い服を着ていた男性が見る見るうちに火だるまになり死んでいったのを見て、これは普通の爆弾ではないと感じ、私を学校まで迎えに来てくれました。

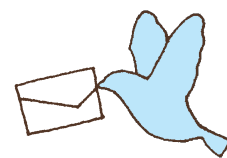
原子爆弾は地上600mのところでは炸裂し、放射能と熱線と爆風と衝撃波とで、広島をわあーと襲いました。それまでの戦争は通常兵器でしたが、世界で初めての核戦争になったのです。そして人を殺し、町を焼き尽くしてしまいました。

忘れたくても忘れられない光景

学校に迎えに来てくれた父の背中におぶさり自宅への帰路で見た光景は、地獄のようでした。眼球が飛び出し這うように逃げている姿、遠くからは衣服が焼けてぶら下がっているように見えていた人が、近づくと焼けただれた皮膚が垂れ下がった手を、前にかざして幽霊のように歩いている姿、真っ黒な炭ようになった赤ちゃんをしっかりと抱いて、自分もズルズルに焼けただれて立っている姿、内臓が飛び出しそれを抱えるようにしている姿。目をそむけたくくなるような姿がいっぱいでした。「助けてください。水を、水を…」と目で訴えている女の子と目が合ったのです。でも、私は何もできませんでした。その子の目が今でも私の目に焼き付いて忘れられません。



千葉県原爆被爆者友愛会
児玉三智子さん



今、児玉さんが願うことは「子どもたちに戦争も核兵器もない未来を!」

7歳だった私の脳裏に焼き付いたままの地獄の光景、音、声、におい、生活苦、世間の偏見、差別での苦しみは、74年たった今も消えることはありません。

被爆者は、私たちが味わった地獄の苦しみを、世界の誰にも味わわせてはならないと、国の内外に原爆被害の実相を語り続けてきました。しかし、地球上に13,800を超える核兵器が存在しています。米国は小型核弾頭を配備したと公表するなど、緊張は高まっています。どんな理由があろうとも、戦争も核兵器も、決して許してはなりません。

世界で唯一の戦争被爆国の国民、私たちは「子どもたちの未来のため」戦争に関する絵本の読み聞かせや戦争体験者から話を聞くなど、自分にできることで伝えていきましょう。

「あなたが、あなたの家族が、あなたの愛する人が、核兵器の被害者にならないために」今、何をしなければならぬかを考え、共に行動していきましょう。

再び被爆者をつくらないために

～私たちも平和について考えてみましょう～

被爆者の苦しみを世界に伝え、核のない平和な世界を目指すNPT再検討会議※が5年に一度開催されています。残念ながら新型コロナウイルスの影響で参加者の安全を考え、代表団の派遣を中止しました。

この会議に合わせて、児玉さんなど被爆者がニューヨークで世界の代表に向けて被爆の実相を知らせ非核平和を訴える予定でした。

コープみらいでは、平和はくらしの中で尊いものと考えていますので代表団を派遣し被爆者の行動をサポートし、世界に平和を訴えてくる予定でした。この生協代表団として参加予定だった古賀理事にその想いを聞きました。

※「核兵器の不拡散」「核軍縮」「原子力の平和利用」をめぐる諸問題について5年に一度開かれ議論しています。



コープみらい組合員理事の
古賀摩希子さん

原爆がもたらした悲惨な現実、被爆者の終わりのない苦しみをすることは、「平和は当たり前にあるものではない。自分たちが大切に守らなければならないもの!!」だと気づく大切な一歩だと思えます。私も未来を受け継ぐ一人として、世界が心をつにし、核兵器廃絶に向けて平和への願いが広がるよう今後も力を尽くしたいと思います。

問い合わせ

コープみらい千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL 0120-925-036 9時～17時(土・日・祝日休み)